

平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月13日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岡崎 栄一 TEL 06-6262-9221
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	1,513	37.2	179	317.7	180	312.0	155	301.9
30年2月期第1四半期	1,102	△11.0	42	△24.8	43	△19.9	38	△26.0

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 175百万円 (244.9%) 30年2月期第1四半期 50百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	18.56	—
30年2月期第1四半期	4.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第1四半期	2,968	2,346	79.1	280.86
30年2月期	2,763	2,196	79.5	262.87

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 2,346百万円 30年2月期 2,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,650	4.9	270	△17.8	270	△18.6	230	△54.1	27.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年7月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年2月期1Q	8,490,103株	30年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	135,095株	30年2月期	135,027株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年2月期1Q	8,355,029株	30年2月期1Q	8,355,465株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善により個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調を継続しました。また、政府の「働き方改革」による余暇時間の増加により余暇市場への参加人口の回復が期待されています。

このような中、当社グループは各事業部門とも好調に推移し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,513百万円（前年同期比37.2%増）、営業利益は179百万円（前年同期比317.7%増）、経常利益は180百万円（前年同期比312.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は155百万円（前年同期比301.9%増）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、「星のカービィ」「忠犬もやし」等の定番キャラクターが引き続き好調で、加えて昨年末より著作権を取得し商品化を開始しておりますカプセルトイのキャラクター「シヤクレルプラネット」が売上に寄与した結果、売上高1,080百万円（前年同期比58.4%増）、営業利益157百万円（前年同期比332.3%増）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業におきましては、一部定番キャラクターの販売はやや苦戦しましたが、自社オリジナルキャラクターの「忠犬もやし」に加え「星のカービィ」「ひつじのショーン」といったファンシーキャラクターの販売とオリジナル商品であるバスボール（フィギュア入り入浴剤）の販売も好調で、売上高432百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益22百万円（前年同期比237.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ204百万円増加し、2,968百万円となりました。これは主に、電子記録債権の減少額38百万円により一部相殺されたものの、受取手形及び売掛金の増加額125百万円、商品の増加額109百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、621百万円となりました。これは主に、流動負債のその他の減少額47百万円により一部相殺されたものの、買掛金の増加額100百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ150百万円増加し、2,346百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額130百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年4月13日に公表いたしました平成31年2月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成30年7月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,510,898	1,520,179
受取手形及び売掛金	600,991	726,734
電子記録債権	184,552	146,272
商品	135,744	244,950
繰延税金資産	58,674	52,844
その他	115,776	103,986
貸倒引当金	△1,875	△2,029
流動資産合計	2,604,761	2,792,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△4,671	△5,919
建物及び構築物（純額）	10,025	8,777
車両運搬具	2,225	2,225
減価償却累計額	△1,948	△1,971
車両運搬具（純額）	276	253
その他	93,090	97,764
減価償却累計額	△81,611	△83,377
その他（純額）	11,479	14,386
有形固定資産合計	21,781	23,417
無形固定資産		
投資その他の資産	20,044	21,782
投資有価証券	54,269	68,478
退職給付に係る資産	46,441	46,254
その他	28,845	27,917
貸倒引当金	△12,555	△12,555
投資その他の資産合計	117,001	130,095
固定資産合計	158,828	175,294
資産合計	2,763,589	2,968,233

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	246,046	346,102
未払法人税等	46,977	28,948
賞与引当金	15,180	32,340
その他	184,901	137,390
流動負債合計	493,106	544,780
固定負債		
繰延税金負債	23,837	27,942
その他	50,334	48,893
固定負債合計	74,172	76,835
負債合計	567,279	621,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	492,935	492,935
利益剰余金	1,282,296	1,412,325
自己株式	△51,564	△51,617
株主資本合計	2,185,665	2,315,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,381	31,905
繰延ヘッジ損益	△9,489	1,482
為替換算調整勘定	△2,247	△2,413
その他の包括利益累計額合計	10,644	30,975
純資産合計	2,196,310	2,346,616
負債純資産合計	2,763,589	2,968,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	1,102,767	1,513,098
売上原価	780,075	1,013,076
売上総利益	322,691	500,021
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	83,376	83,642
賞与引当金繰入額	3,470	17,160
退職給付費用	1,176	3,076
役員退職慰労引当金繰入額	1,517	—
荷造運搬費	60,404	81,574
貸倒引当金繰入額	694	154
その他	129,124	135,111
販売費及び一般管理費合計	279,765	320,718
営業利益	42,926	179,302
営業外収益		
受取配当金	103	154
賃貸収入	1,006	422
その他	174	300
営業外収益合計	1,283	877
営業外費用		
為替差損	480	—
その他	—	1
営業外費用合計	480	1
経常利益	43,728	180,178
特別損失		
固定資産売却損	—	162
特別損失合計	—	162
税金等調整前四半期純利益	43,728	180,015
法人税、住民税及び事業税	4,276	24,035
法人税等調整額	866	885
法人税等合計	5,143	24,921
四半期純利益	38,585	155,094
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,585	155,094

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	38,585	155,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,767	9,524
繰延ヘッジ損益	3,307	10,971
為替換算調整勘定	203	△165
その他の包括利益合計	12,278	20,330
四半期包括利益	50,864	175,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,864	175,424
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（その他有価証券の評価方法）

その他有価証券のうち時価のあるものの評価差額については、従来、部分純資産直入法により処理してまいりましたが、前連結会計年度においてその他有価証券として保有する有価証券のうち市場動向によって売却を想定しているものの保有がなくなったことを契機として処理方法を見直した結果、原則的な処理方法である全部純資産直入法を適用する実務慣行が定着しており、他社との比較有用性を高めるため、当第1四半期連結会計期間より、全部純資産直入法による会計処理に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による過去の期間に与える影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響も軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	681,979	420,787	1,102,767	—	1,102,767
セグメント間の 内部売上高又は振替高	468	1,004	1,473	(1,473)	—
計	682,448	421,792	1,104,240	(1,473)	1,102,767
セグメント利益	36,346	6,580	42,926	—	42,926

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,080,104	432,993	1,513,098	—	1,513,098
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	18	18	(18)	—
計	1,080,104	433,011	1,513,116	(18)	1,513,098
セグメント利益	157,123	22,179	179,302	—	179,302

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。